

因北中学校 研究だより

学びを深める
～互恵的な授業づくりを通して～

令和2年7月15日(水) 第2号

● 7月7日、第1回校内指導案研究協議会が行われました。

今回は予定していた授業が大雨で一斉下校のためできなくなり、他の学級で実施した授業をもとに、全員で研究協議をしました。

- 1 授業を行った学級 3年全組
- 2 教科・単元 英語・Unit 2
- 3 学習課題 クラスメイトに自分の好きな物事を紹介しよう

4 授業の展開

- ・自分の好きな物について I like～. It's interesting. と2文でしか説明しないVTRを見せ、相手に興味・関心をもってもらうために他にどんな情報を付け加えればよいか班で話し合い、共有する。その後、各班で各々プレゼンテーションを行い、班のメンバーから、付け加えたらよい情報についてアドバイスをもらい、より相手に分かりやすいプレゼンテーションの原稿を全員が作成できるようにする。以上の授業構想を授業者から説明し、生徒の反応やできあがりの例を紹介しました。
- ・初めは日本語しか書いてこなかった生徒が、友だちからのアドバイスを受けて自分の好きな映画について、理由等を紹介する英文を作成することができました。

5 研究協議

「各教科で話し合いにかかる時間配分はどれ位か」
「何を話しさせせるか」という視点から意見を出し合いました。

(主な意見)

- ・国語科では、本時のめあてと話し合いのテーマを提示(5分)個人思考(10分)テーマにそった話し合い(10分)全体で練り合い(15分)まとめ(10分)の時間配分で授業を構成している。生徒同士の意見の戦いはできず、教師 vs 生徒で終わるのが課題である。
- ・数学科では、解き方を説明し、類題を解き、班で教え合いを最後の10分で行う。班活動は、数学が苦手な生徒を教えるときに活用し、班の中の一人は数学の得意な生徒を配置し、先生役にして3問を班の全員が解けることを目標にして取り組んでいる。
- ・理科では、毎回15分、話し合いの時間を確保しているが、その中でアドバイスもするので、時間的には不足している。最後の15分で発表の時間を取り、班の中で一人1分程度で、1回は発表させる。間違いを直させたり、課題をいきなり提示し、考えさせる。正解に近い答えが出たときそれをどう深めることに生かしていくか、そのときの発問が大切である。2項対立を使っている。
- ・体育科では、活発に意見を出させるには、最初から3分以内に話し合いをさせると良いというデータもあり、身体を動かす時間を確保することが必要なので、話し合いながら身体も動かす。話し合いの時間はせいぜい3分。チーム競技は、タイムをとって戦略を立てる。



- ・意見を拡げるためと絞るための2種類の話合いの方法があるが意見を出させて、どうしたいかを教師が事前に持っている必要がある。また、学力と生徒指導の両面から班編制を考えていく必要がある。
- ・授業の流れとしては、個人思考、班で交流し、全体で交流するが、班にこだわる必要がないこともある。活動内容によって時間や活動が変わるので、個人では解決するのが難しい問題を与え、話し合う必然性を仕組んでいく。学習課題の内容を話し合いが必要とするものにする。

6 昨年度の島根県立大学 古賀洋一先生からの指導・助言の内容

- ・自己肯定感が高まる場面は4種類に分類される。(①日々の授業の成功体験を積み重ねて高まる。②自分と似た他者をモデルに模倣体験をして高まる。③他者からの励ましによって高まる。④頑張ろう等の感情的な面から高まる。)このうち①や②が特に重要であり、その短期的な成功体験による自信をいかにして長期にわたる自信へつなげていくかが研究すべき点であろう。
- ・生徒の自己肯定感を高めるための手だてとしては、①学習課題を生徒が解決したい課題にすること、②生徒が「動ける」「考えられる」ようにするためにイメージ化や観点の明確化を図ること、③粘り強さを生み出すために励ましや問いかけを行うことが重要になってくる。

7 今後に向けて

- ・学びを深める学習を生み出すために、授業の中で時間をかけるところと絞るところを明確にするよう授業構成を考えていきましょう。
- ・話し合いを行う際には、答を考える観点を明確に示すようにしましょう。
- ・生徒に発表させる場面では、理由をつけて説明させるようにすることで、発言者以外の生徒の理解の深まりにつなげるようにしましょう。

※「生徒の学びを中心に話ができる喜び」を味わえる教育研究を、力を合わせて創っていきましょう！

今回は、8月20日(木)の午後、本校にて福山市立福山東中学校より高橋延昌校長先生を講師にお招きし、「不登校生徒の学校復帰に向けた取組」「不登校生徒及び特別支援の必要な生徒に対する『個別最適な学び』の在り方」「不登校の予防に係る積極的生徒指導の在り方」について因北小学校との小中合同研修会を開催する予定です。